

始業式：児童代表の話

「6年生の決意」

私は、誰にでも優しくできる自分になりたいと思っています。

ちょうど3年前の春、私はこの川島小学校に転校してきました。

不安で、頑張りたいこともまだ考えられなかった私に、通学班の6年生の班長さんが、やさしく「おはよう!」と声をかけてくれました。その瞬間に、不安が一気になくなり、私には、やさしい6年生の班長さんが、とても大人に見えました。

その時に6年生の優しさが、今でも私のあこがれです。だから、あの時、私が助けてもらったように、これから、低学年の子、困っている子や悩んでいる子に、やさしく声をかけられるような6年生になりたいです。

また、学習面では、次の2つのことを頑張りたいです。

1つ目は、「人前で発表すること」です。今は緊張して声がだんだん小さくなって話すスピードも速くなってしまい、相手にはっきりと自分の意見を伝えることができません。自信をもって、大きな声で、皆に伝えることができるようになりたいです。

そのために、できるだけ、遠くまで声が届くように意識して、あわてず、ゆっくり話すことを心掛けたいです。

2つ目は、「授業中の挙手」です。間違えていたらどうしよう、ということばかり考えてしまい、なかなか手を挙げることができません。後で、『言えはよかった』と後悔することが多くて、『しっかりと発言できる子がうらやましい』と思う時もあります。

だから、失敗を恐れず行動できる自分になりたいです。そのために、自分で『必ず3回は手を挙げる!』など、目標を決めて、授業に取り組みたいです。

これからの「なりたい自分」をめざして、低学年から目標としてもらえるように、自分の役割に責任をもって取り組みたいです。そして、明るく、楽しく、元気よく、笑顔でつながる川島小にしたいです。